

体育祭にどう取り組んだか

～生徒の自主性を重んじたブロック運営委員会の取り組み～

1993年10月8日(金)

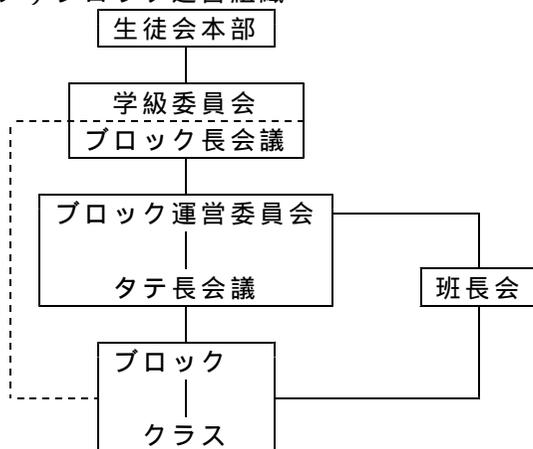
宇治市立西宇治中学校 田中正浩

はじめに～西宇治中の体育祭～

西宇治中では数年前よりいわゆる「応援合戦」を「ブロック演技」と改め、一部の生徒が目立つのではなく、みんなでつくる体育祭を目指し、生徒会を中心に取り組んでいる。3年前には教師、生徒それぞれの論議を経て、それまでの4ブロック制から、7(3年のクラス数)ブロック制へと変わったことで、指導学年の3年生全体の自覚が高まってきた。(資料「1993年度体育祭指導原案」参照)

1. ブロック活動にどう取り組んだか。

ア) ブロック運営組織



イ) ブロック運営委員会(1、2、3年学級委員+)の役割

ブロック運営方針、スローガン、目標などの原案作成

縦割り班(タテ班)の編成

ブロックマスコットの決定

ブロック演技の原案作成

ブロック集会、練習の原案作成、実施、総括

ブロックニュースの発行

その他ムードを盛り上げる活動や、ブロック活動で生じた問題点について話し合い、解決策を練る。

ウ) タテ長会議(3年班長会)

タテ班の役割分担

ブロック運営委員会の決定事項の徹底

エ) ブロック集会(練習)(一例)

集合、整列

開会宣言

集合総括

あいさつ

練習内容の説明

練習(演技、競技、仕事)

集会総括

閉会宣言

解散

2. 自覚の高まったリーダー達

- ・毎日発行したブロックニュースにリーダーの意気込みが反映。
(別冊資料参照)
- ・ブロック長のやる気が乗り移った「ムカデ」自主練習。
- ・とうとう出た、「演技練習は私らに任せて」発言。

3. そして迎えた体育祭当日。青ブロックの様子は...

- ・ブロック種目で好成績。練習の成果が出たことで一気に高まったブロックの一体感。
- ・3年全員リレーの優勝で興奮は最高潮に。
- ・ブロック演技でのキビキビした動きと目の輝き。
- ・団結力で手にした、ちょっぴり悔しい「競技の部準優勝」。

4. 今年度の体育祭を振り返って

ア) 生徒の感想(資料「3の2学級通信『FIGHT!』13」参照)

リーダーの頑張っている姿を多くの者が正しく評価し、そのことで一般層の生徒も真剣に取り組めた。また、そうして全員が力を合わせて取り組めたことに対して、自信がつき、次の文化祭へとつながっていている。

イ) 成果と課題(個人的見解)

誰が見ても今年度の生徒の頑張り(特にリーダー)は素直に評価できるものであった。特筆したいのは、この頑張りが単に「目立ちたい」という個人的な要求であったり、逆に義務感しかなかったり、あるいは教師の顔色うかがいの的などところに根ざすものではなく、生徒の内面から起こってきたものであるということ、そしてそれは集団への信頼に基づくものであったということである。そして忘れてならないのは、今年のこの前進は、今まで数年間にわたって取り組んできた積み重ね(失敗も多々あった)があったからこそ、勝ち取れたものだということである。

来年度への課題もまだまだ残されているが、今年の成果を大切にしながら、更に発展させる方向で取り組んでいきたいと思う。